

ニラ 長い期間収穫を楽しむ

園芸研究家 ● 成松次郎

春（3・4月）に種まきし、育苗して、6、7月に植え付け、翌年の春・秋に収穫します。乾燥する場所以外はどんな土地にも育ち、半日陰でも大丈夫です。

「品種」 「ミラクルグリーンベルト」（武蔵野種苗園）は鮮緑色で葉幅が広く、肉質は柔らかい品種。「タフボーイ」（八江農芸）は耐寒・耐暑性があり、刈り取り後の再生力の高い品種です。

「育苗」 一平方m当たり化成肥料（NPK各成分10%）100gと堆肥1kgを施し、土とよく混ぜておきます。幅70cm程度の苗床を作り、条間15cm、1cm間隔にすじまきします（図一）。発芽後、密生した所を間引き、草丈25cm程度まで育てます。

「畑の準備」 植え付け2週間前に一平方m当たり苦土石灰100gを全面にまいて、よく耕しておきます。植え付け溝は畝幅60〜70cmとし、深さ20cm、幅15cmに掘り下げます。元肥は植え溝1m当たり化成肥料50g程度、堆肥1kgを施し、土を掛けておきます（図二）。

「植え付け」 苗は根を傷めずに掘り取り、株間20〜25cm間隔で一カ所3、4本をまとめて植え付けます（図三）。

「追肥・中耕・とう摘み」 植え付けの年は9、10月に月一回追肥をします。一回の追肥量は畝1m当たり化成肥料30g程度とし、この際に中耕を行います（図四）。2年目以降は春先と、収穫後に同量を与えます。なお、植え付けの2年目以降は夏になると、とう立ちするため早めに薔（つぼみ）を摘み取ります。

「病害虫防除」 新芽に付きやすいアブラムシには「粘着くん液剤」「ベニカ水溶剤」などの登録農薬で防除します。

「収穫」 翌年4月から10月にかけて収穫できます。草丈35cm程度に伸びた頃、地上5cm程度の部分で刈り取り収穫をします（図五）。1年に3、4回収穫できます。

「株の更新」 3、4年は同じ畑で栽培できますが、密生し葉幅が狭くなってきたら、春に株を更新します。株を掘り取り、分割して3芽ずつまとめて植え直します（図六）。

